

第 15 回たじみ子ども会議「意見書」

けいかほうこくしょ 経過報告書



平成 25 年 12 月

多治見市

目次

経過報告

1. 緑化・グリーンカーテン^{りょくか}
2. 歩くように呼びかけ・自動車の使用をひかえる^{ある よ じどうしゃ しよう}
3. うちの配布^{はいふ}

参考資料

第15回たじみ子ども会議「意見書」(写)^{だい かいぎ いけんしょ うつし}

提案 1. 緑化・グリーンカーテン

- (1) グリーンカーテンを進めるために、現在市民に配っているゴーヤの苗の配布をこれからも続けていただきたい。
- (2) 駅周辺やビルなどが多いところでも、緑化を進めていただきたい。

市の考え・対応

- (1) 平成17年度から続けている緑のカーテン事業（ゴーヤの苗の配布）は、高気温対策のひとつとして毎年5月終わりごろから6月初めにかけて市民のみなさんへの配布を行ってきました。平成25年度は一般市民（約4,200ポット（のべ約2,100人））や公共施設など（約1,300ポット）に配布しました。

この事業は、ゴーヤの葉がつくる影によって、建物や室内の気温上昇をおさえることで、夏季の電力需要のピークカットや総量削減につながります。また、幼稚園、保育園、小中学校や公民館などの公共施設で育てたゴーヤは、環境学習の教材にも利用しています。

これからも、この事業は多治見市の高気温対策事業として位置づけ、市民のみなさんと連携・協力して取り組んでいきます。

(環境課)

※ピークカット：夏の冷房によってできる必要な電力量が一番多いところ（頂点）を低くおさえること

※総量削減：夏の間に使用する電力量の合計を減らすこと

- (2) 多治見駅の北側に新しくつくる市役所分庁舎では屋上緑化を行います。
また、多治見駅周辺などの緑化重点地区では、屋上にかぎらず民有地の緑化をしていただくかたに助成金を出して、市内の緑化を進めていきます。

(緑化公園課)

※民有地：個人や会社など民間が所有している土地

提案2. 歩くように呼びかけ・自動車の使用をひかえる

- (1) 多治見市が中心となって、「近場は歩くようにする」歩行推進運動を進めてほしい。
- (2) 公共交通機関（バス）について、全線で「100円キャンペーン」のようなことを実施してほしい。

市の考え・対応

- (1) 現在作成中である「多治見市総合交通戦略」のなかで「自転車歩行者ネットワーク計画をつくること」を位置づけて、自転車や歩行者が安全に多治見駅周辺から移動できる環境づくりを進めていく予定です。また、昨年度「多治見市バリアフリー基本構想」を作成し、多治見駅周辺のバリアフリー化を進め、だれもが移動しやすい環境を整えていきます。さらに、公共交通のネットワーク化を進め、もっと便利に公共交通が利用できるようにしていく予定です。

このようなことから、歩いて移動できる環境を整えて、自動車利用から変えていくように進めていきます。

(都市政策課)

多治見市でも、環境への影響が少ない移動手段へ変えていくことを目指して、ハイブリッドカー、電気自動車、電動スクーターの購入を進めています。また、市街地内での移動にはできるかぎり自動車を使用せず、公共交通機関や自転車を使用するように市民のみなさんにすすめています。

これからも温室効果ガスの削減に向けて、多くの市民が取り組んでいけるような事業を考えていきます。

(環境課)

※温室効果ガス：地球温暖化をもたらすガス

- (2) 平成24年11月から平成25年1月まで、多治見市内を運行する東鉄バス17路線のうち7路線で、平日の10時から16時までの便の運賃の一番高い金額を200円とする実験を行いました。しかし、乗車人数の増加が予想を下回ったため、全路線で実施した場合に出る赤字部分の負担について市役所内やバス会社と話し合っています。

(都市政策課)

提案3. うちわの配布

- (1) 駅前以外の図書館の前など多くの場所で、うちわと冷たいものを渡してほしい。
- (2) うながっぱかミナモ、または両方が来て、うちわを渡してほしい。
- (3) 祭りやイベントを増やし、うちわと何かを配ってほしい。ラジオ体操が終わった時やサマータイムガーデンの時に、うちわと冷たいものを渡してほしい。

市の考え・対応

- (1) うちわを配布する場所については、毎年配布している多治見駅南駅前広場が市民のみなさんに定着していることから変更しませんでした。また南駅前広場であれば、自家用車を使わなくても、バスや電車に乗って来られる場所であると考えています。このような理由から、これからも引き続き多治見駅南駅前広場での配布を続けていきます。

また、いろいろな場所で行われるイベントの時も、うちわを配布していく予定です。

- (2) 祭りやイベントの時には、それぞれの場所でできるかぎりうながっぱと一緒にうちわの配布を行いました。今後も引き続きうながっぱと一緒にうちわを配っていきます。

- (3) 日本気象協会から飲料水の提供があり、「うながっぱと水あそび」というイベントでうちわと一緒に飲料水を配布しました。また、熱中症予防のチラシと一緒に配布することで、身近な予防を呼びかけることにつながったと考えています。

これからも、団体や企業などと一緒にイベントを行う時に、飲料水などの提供があった場合には、うちわと一緒に配布していきます。

うちわを配布した祭りやイベント（平成25年度）：夏まつり、りば一ぴあ、たじみクールアースデイ、花火大会、夢広場のミスト開栓、ラジオ体操の日

（産業観光課）